

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

ハピネス

♪ 君と過ごしている時間を
特別だとか思っていなかった
でも一人になったとき
なんか分かった気がした
一緒にいれることの幸せ ♪♪

音楽発表会で6年生が歌う「ハピネス」の歌詞の一部です。
なんと示唆に富んだ歌詞でしょう。
この当たり前の日常も、失った時に初めてその大切さに気がつくのです。

6年生の歌声を聞きながら10年前のことを思い出してしまいました。



当時、学校の子どもたちが、全盲の方と交流をさせていただいていました。この方は、20才の頃から次第に視力が弱まり、40才を過ぎた頃に完全に視力を失ってしまったとのことでした。

視力を失ってしまったのは、生活にもさぞかしご苦労も多かろうと思うのですが、いつも明るく子どもたちに接してくださいました。

ある時、一人の子が「もし、もう一度目が見えるようになったら何が見たいですか」って尋ねました。突然の質問に私自信が戸惑ってしまいましたが、この方は、遠くを見るようにして答えてくださいました。

「家族の顔をもう一度見たいなあ。」

家族と目を合わせるこの日常
好きな音楽を聴くこの日常
ハピネス
友達と学校にいるこの日常
友達とともに歌うこの日常
ハピネス
この日常こそハピネス
ハピネス
この大切なこの日常



また会える日まで

音楽発表会で1年生が歌う歌です。
「何!“また逢う日まで”か」
我が青春の歌。昭和の歌。あの尾崎紀世彦の・・・と思いきや、私の勘違い。「ゆず」の「また会える日まで」でした。「ああ、よかった！」

♪♪ 青い空、白い雲、勇気をもってふみ出そう
思い出すと笑いあえる楽しい思い出
大好きみんなの笑顔が宝物
強いきずなを僕は忘れないよ
また会える日まで夢を忘れずに ♪♪

この歌詞は、“ゆず”の北川さんが企画した「アドベンチャー・キャンプ」に参加した子どもたちが作ったものだそうです。初めは見知らぬ子どもたちが一つの島に集まり、困難な場面をこの仲間と一緒に乗り越えていくアドベンチャー。その子どもたちが自分の体験を振り返りながら言葉を紡ぎ出し、その一言一言を北川さんがつなぎ合わせてできあがったのがこの歌です。

1年生は、くじらぐもと戯れながら元気よくこの歌を歌います。

私は、この1週間子どもたちの練習の様子を横から眺めてきました。仲間、勇氣、やさしさ、思いやり、平和・・・子どもたちが語る言葉に、そして、歌声に、一人目頭を熱くしていました。明日は、是非ともみなさんと一緒に感動を分かち合いたいと思います。

